

研究課題名	門脈圧亢進症合併肝細胞癌に対する腹腔鏡と開腹肝切除の比較 -傾向スコア解析を用いた多施設共同研究-
研究の意義・目的	肝腫瘍に対する腹腔鏡下肝切除術は保険収載され、全国で普及していますが、門脈圧亢進症を合併する肝細胞癌に対する開腹手術と比較した腹腔鏡手術の術後成績は明らかとなっていません。関西8大学病院で門脈圧亢進症合併肝細胞癌に対して肝切除術が行われた患者さんの術後経過について診療情報を集積し腹腔鏡下肝切除術の意義について検討することを目的としています。 本研究は大阪市立大学が中心となって行う研究です。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ 2024年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2005年1月～2020年12月に下記の研究機関で、門脈圧亢進症合併肝細胞癌の手術のため入院された方が対象となります。 大阪市立大学大学院肝胆膵外科学 大阪医科大学一般・消化器外科 関西医科大学・外科学講座 近畿大学・外科学講座 和歌山県立医科大学・外科学第2講座 京都府立医科大学・消化器外科 奈良県立医科大学消化器・総合外科 滋賀医科大学消化器・消化器外科
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、CT画像、病理検査結果、術後経過】
試料・情報の他機関への提供	この研究は 大阪市立大学大学院肝胆膵外科学へ頂いた試料・情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	大阪医科大学一般・消化器外科 診療准教授 廣川文鋭 関西医科大学・外科学講座 診療教授 海堀昌樹 近畿大学・外科 教授 中居卓也 和歌山県立医科大学・外科学第2講座 講師 上野昌樹 京都府立医科大学・消化器外科 講師 生駒久視 奈良県立医科大学消化器・総合外科 助教 北東大督 滋賀医科大学消化器・消化器外科 講師 飯田洋也
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院肝胆膵外科学 病院講師 新川寛二
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	*各機関に合わせてご修正ください 研究責任者 大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 病院講師 新川寛二 住所 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 肝胆膵外科学医局 電話 06-6645-3841 FAX 06-6646-6057 E-mail hirojishinkawa9876@gmail.com